

動物用医薬品専門調査会

評価案件名 (物質名等)	物質の区分	用途等	評価案件(物質)の概要	専門調査会	審議状況
アザペロン	動物用医薬品	豚の鎮静剤	海外で、豚の鎮静剤として用いられています。	動物用医薬品	評価書案を一部修正の上、委員会に報告することとなった。(最近の議事: 24.5.15専門調査会)
キシラジン	動物用医薬品 (残留基準設定)	鎮静剤	牛及び馬の鎮静剤として用いられます。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準が設定されています。	動物用医薬品	専門調査会にて審議中 (最近の議事: 24.5.15専門調査会)
酢酸メレンゲステロール	動物用医薬品 (残留基準設定)	合成ホルモン剤	合成ホルモン剤で、飼料効率の改善、体重増加率の増加、肉用牛の繁殖抑制に用いられます。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準値が設定されています。	動物用医薬品	専門調査会にて審議中 (最近の議事: 23.2.21専門調査会)
ジシクラニル	動物用医薬品 (残留基準設定)	昆虫成長制御剤	昆虫成長抑制剤で、ハエ蛆症の予防等に用いられます。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準が設定されています。	動物用医薬品	確認評価部会にて審議中 (最近の議事: 20.7.16)
ジミナゼン	動物用医薬品	抗原虫剤	抗原虫剤で、牛のバベシア症、タイレリア症に用いられます。	動物用医薬品	専門調査会にて審議中(最近の議事: 24.4.17動物用医薬品専門調査会)
鶏大腸菌症生ワクチン	動物用医薬品 (残留基準設定)		鶏の大腸菌症の予防に使用されます。	動物用医薬品	評価書案を一部修正の上、委員会に報告することとなった。(最近の議事: 24.3.21専門調査会)

動物用医薬品専門調査会

評価案件名 (物質名等)	物質の区分	用途等	評価案件(物質)の概要	専門調査会	審議状況
プロペタンホス	動物用医薬品 (残留基準設定)	殺虫剤	殺虫剤で、羊の外部寄生虫駆除等に用いられます。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準が設定されています。	動物用医薬品	評価書案を委員会に報告することとなった。(最近の議事:23.8.2専門調査会)
ベダプロフェン	動物用医薬品 (残留基準設定)	非ステロイド系 消炎剤	抗炎症薬で、馬の炎症作用に伴う痛みを軽減するために用いられます。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準が設定されています。	動物用医薬品	確認評価部会にて審議中 (最近の議事:20.4.23)

* 動物用医薬品については、成分は残留基準の設定にあたっての評価要請、それを有効成分とする製剤は承認申請・再審査にあたっての評価要請を受けています。この表では、評価を併せて行う成分と製剤を並べて掲載しています。